

令和元年度

無電柱化の日

俳句コンテスト

心に描く電柱のない風景

11月10日は、国で定めた「無電柱化の日」です。
東京では、「無電柱化の日」に合わせて
事業に対する都民の理解と関心を
深めてもらうためイベントを開催しています。
今年も、11月8日（金）に
「無電柱化の日 俳句コンテスト」心に描く電
柱のない風景」を開催しました。

俳句募集

- ❖ テーマ：「電柱のない風景」
- ❖ 部門：一般の部／小・中学生の部
- ❖ 期間：令和元年7月1日（月）～
9月30日（月）

俳句コンテスト入賞作品発表イベント

- ❖ 日時：11月8日（金） 17時～18時30分
- ❖ 場所：都議会議事堂1階 都民ホール

- ❖ 応募句数：一般の部 5,332句
小・中学生の部 4,106句
計 9,438句

❖ プログラム：

第一部 講演「パラリンピックと東京の街」

講演者 二條 実穂（車いすテニス）

第二部 入賞作品紹介・入賞者表彰

出演 小池 百合子（東京都知事）

二條 実穂（車いすテニス）

浦川 聡子（俳人）



俳句コンテストでは、「電柱のない風景」をテーマに作品を募集し、応募総数は、一般の部5,332句、小・中学生の部4,106句、計9,438句もの作品が集まりました。

後援いただいた現代俳句協会の審査を経て入賞した10作品の中から、知事が各部門の都知事賞（2作品）を選定しました。

イベントの第一部では、「パラリンピックと東京の街」と題して、車いすテニスの二條実穂さんによる講演が行われました。講演では、二條さんの経歴や車いすテニス競技の紹介、車いすで段差を乗り降りする実演など、ご自身の経験やバリアフリーの街には電柱が不要なこと、心のバリアフリーについて貴重な話を聞くことができました。

続いて第二部では、俳人の浦川聡子さんを迎え、俳句入賞作品の発表と紹介が行われました。表彰式では、小池知事から受賞者へ賞状が授与され、受賞者と記念写真を撮影しました。終始和やかな雰囲気の中、イベントが執り行われました。

小池知事は講評として「無電柱化は徐々に進んではいるが、まだ遅い。今回は俳句という手段で、皆さんに無電柱化の必要性を考えていただいた。

都民のみなさんがもっと無電柱化を進めようと声をあげていただき、ともに災害に強く美しい東京にしていきたい」と述べました。

東京都では、入賞作品の俳句を工事広報看板へ標語として掲示するなどして活用していきます。

入賞作品

	一般の部	小・中学生の部
都知事賞	コスモスや電柱跡の小花壇	いわし雲電柱なければ空は海
入賞	東京の大空帰る日の公孫樹 ^{いちよう}	無電柱すみきった空にオリオン座
	無電線迫る直球雲の峰	無電柱桜並木を一人じめ
	無柱化や介助犬も歩く道	無電柱雪積もっても道広し
	無柱化を成し得た空に虹の立つ	聖火リレー駆け抜ける道無電柱